



第 322 号
発行 2011年3月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人
めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一
事務局 0952(25)2797
印刷所 (株)古川総合印刷



めぐみ園施設長 森永弘太

「ゆとり」のある生活を

世界的に社会経済情勢が依然厳しい中にある今日、福祉の世界も先が見えない状況であります。

知的障害の福祉制度は、従来の措置制度から利用者がサービスを自ら選んで利用する制度へと、理念と仕組みが大きく変化しました。

そして、平成十八年に「障害者自立支援法」が施行され日額制・利用者負担増など利用される方、事業者にとって大変厳しい内容となっています。その後に平成二十二年には、やつとできた「障害者自立支援法」を廃止し、新たに「障害者総合福祉法（仮称）」の制度を目指すようどんどん変わつてきています。大きな環境の変化に戸惑いを感じる状況であります。

しかし、利用者の方は日々生活されています。法律が変わったからしばらく待つくださいとは言えませんし、逆に職員の負担が多くなってきたように感じます。

職員の皆さん、利用者の方に生活をエンジョイしてもらうためにいろいろと工夫して貢っていると思います。

しかし、現実は職員の人数が足りない、配置に苦慮されていてなかなか思いどおりにはいかないのが現実だと思います。最近は、福祉の道へ進もうと志す若い方が減ってきているのもあり、施設としてもなかなか職員増にならない現実があります。毎日の生活の中で施設全体もそうですが、職員の中でも「ゆとり」がなくなってきていると 思います。

これからは暖かくなり、梅が咲き、桜が咲く時期になってきます。以前はみんなで花見によく行っていたと思います。しかし最近ではなかなか行けない、計画ができるない状況です。

職員の配置ができない、忙しい等々いろんな業務に追われていてそこまで手が回らないのが現実だと思います。各施設では、一年間を通じいろいろな行事・イベントが企画されています。職員の皆さんは一生懸命企画され、実施してもらっています。本当に施設、職員にゆとりのある行事になつてているだろうかと思うときがあります。利用者の方や保護者の方もほんとうに喜んでらっ

でもらっているだろうかと思うときがあります。ゆっくりと時間をかけてみんなで考え、みんなでワイワイと言いませんが、そういうった時期が施設全体の雰囲気が活性化していたのかも知れません（私だけの思いです）。新人職員への研修や職員間の気軽に話せる機会が減つてきていると思います。

施設を利用されている方は、重度化・高齢化され、その家族の方々も高齢化されているのが現実です。生活の中の一つひとつが施設を利用されている方々には今まで以上に大切になってくると思います。「ここに来てよかつた」「たのしい」と日々思つていただけるよう、また職員の皆さんが計画してよかつたと思える行事になるように、みんなで気持ちは日々の生活は今までよりも楽しく満足できる生活になるのではな

いでしょうか。

利用者・家族そして地域社会から信頼される施設を目指してこれからも「ゆとり」のある時間・生活を目指して日々努力していきたいと思います。



きれいになってますね



ビューティーヘルパー カット

ビューティーヘルパーの皆さん、いつも美しくして頂き、本当にありがとうございます。



スッキリと格好よく!!

タフセ散髪

毎月来園して頂き、利用者の方の散髪をお願いしています。タフセ理容には、緑小路の旧園舎の頃からお世話になつております。利用者の方も月一回の散髪ですが、店主の方に逢うことも楽しみにされています。

めぐみ園

成人式

めぐみ園では今年二名の方が成人の仲間入りをされました。

お二人には施設長より記念品が贈られました。

めぐみ園での生活を楽しみたいです。

新成人の抱負

作業を毎日頑張ります。（M・T様）

節分～鬼は外・福は内～

二月三日は節分。昼食では恵方巻をいただき（太巻き一本まるかじりとはいきませんが…）、その後みんなで豆まきを行いました。

みなさん「鬼は外！福は内！」と大きな声を出し、鬼を追い出し、たくさん豆まきを入れてくれていました。



気持ちがいいね！



普段にもまして、皆さん食べるのが早かつたようです。何だか時がとてても早く感じた一 日でした。

利用者の皆さんはとても落ち着いて時折笑顔を見せながら興味深く見られて楽しまれていました。

昨年から二グループに分かれて参加していますが、今回はとても天気に恵まれて青空の下、微古館でおひなさまを見学しました。



佐賀城下ひなまつり

桃の節句 会食会

恒例にもなった佐賀城下ひなまつりに

クリーニング班と手芸班の利用者の方十名と職員四名で出かけました。

句会が開催されました。毎年開催しているひなまつり行事で利用者の皆さんとそのご家族、職員で行なう立食パーティーです。短時間でしたが、皆さん楽しいひとときを過ごされていました。



ボリュームタップリ!!
でした。
皆さん大満足♪

利用者の皆さんとの会話も弾み、貴重な体験となられた様子でした。



花の芽摘み

はい、チーズ！

一月二十五日・二十六日の二日間で佐賀県警察学校の学生七十三名の方々が来訪されました。

利用者の皆さんに紹介の後、学生の皆さんは富士学園・ウイズ富士の日中活動グループに分かれ、それぞれの活動と一緒に体験されました。

佐賀県警察学校施設体験

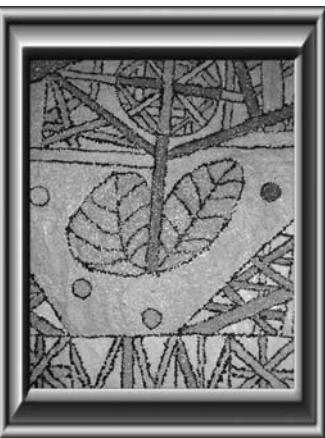
富士学園

車椅子入浴装置が設置されました

富士学園の浴室



『花の模様』M・T様



小さな展覧会

浴サービスを提供することができるようになります。今後もサービス向上に努めて参りたいと思います。

富士学園の浴室（男性・女性共）に車椅子入浴装置が設置されました。



救急法研修会

AEDの操作方法を学び、参加者全員、実際に操作し、緊急時には適切に対応出来るよう詳しく説明を受けました。

二月十六日ふれあい館で佐賀県消防協会の職員七名を迎えて救急法の研修がありました。

「行事予定表」の作成を通じて便利な機能や簡単な書式設定を学びました。今後の業務に活用していきたいと思います。

O A 講習会

ウイズ富士

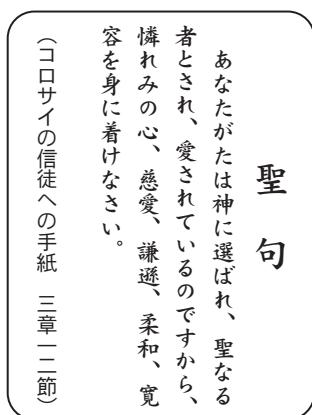
ウイズ富士各科紹介（第二弾）

紙工科では男性九名、女性八名（計十七名）の皆さんでそれぞれの得意分野を生かしながら、作業活動に取り組まれています。

活動内容としては、靴箱の組み立て、蜂蜜仕切り組み立て、ライトロン貼り、光武酒造仕切り組み立て、ボカシ製造などです。

様々な工程を皆で協力して取り組んでいます。





一月九日（日）に富士学園利用者のY・Y様が成人式を迎えるされました。当日、寒さは厳しかったものの天候は良く、絶好の成人式日和となりました。

大人の仲間入りを果たしたこれからも、今まで以上に日中活動や生活面等頑張らしていくことだと思います。

大人の仲間入りを果たしたこれからも、今まで以上に日中活動や生活面等頑張らしていくことと思います。

一月十六日、めぐみ園に佐賀西高校吹奏楽部の皆さんが来園されました。利用者の皆さんには、楽器の音色に静かに聴き入られました。途中、吹奏楽部の皆さんによる踊りや、合唱も披露されました。美しいハー

モニーに利用者の皆さんには魅了されいました。

- 佐賀めぐみ教会様より
- 山口カツ子様より
- 栗林恵一様より
- 川崎俊朗様より
- コダマ紙器様より
- クリスマスケーキ寄贈
- 法人へ（一・二月分）
- 西龍子様より
- 新栄ボランティアの八谷様より
- 九州電力佐賀支店様より
- めぐみ園へ
- 雑巾、タオル、メモ帳寄贈
- タオル・雑巾寄贈
- 「スズラン」寄贈

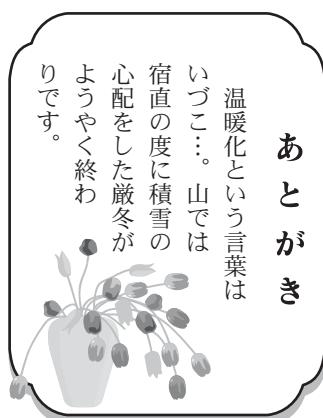


佐賀西高校吹奏楽演奏会

ふれあい



花言葉「幸福、やさしさ、純粋さ」



旧知的障害者入所更生施設定員八〇名を指定障害者支援施設（施設入所支援＋生活介護）定員八〇名に移行
【富士学園】
旧知的障害者入所更生施設定員八〇名を指定障害者支援施設（施設入所支援＋生活介護）定員八〇名に移行
【ウイズ富士】
旧知的障害者通所更生施設定員五〇名を指定生活介護定員六〇名に移行

大切なお知らせ

新体系事業に移行します

めぐみ厚生センターでは本年四月一日より、左記の事業所を障害者自立支援法の新体系事業に移行します。

利用者、ご家族の皆さんにつきましては既に文書にてご案内いたしておりますとおり、新規事業の内容と重要事項をご理解いただき、再度利用契約を締結する必要があります。何とぞご協力をお願いいたします。